

ハラスメント防止の研修会を開催しました

薬学部・薬学研究科では、ハラスメント防止対策委員会活動の一環として、毎年6月ないし7月に外部講師をお呼びして研修会を行っております。

今年は、特別講師として仙台市宮城野区・医療法人美之会庄子内科クリニックで心療内科医・精神科医として御活躍中の大内雄太先生をお迎えし、6月6日（水）午後1時30分から薬学部大講義室を会場に「パワーハラスメント対策」というタイトルのもとで講演をいただきました。

「職場の三大ハラスメントとは？」という話題から始まり（＝セクハラ、パワハラ、マタハラ）、それぞれの定義や重要ポイントの解説とともに具体的な事例を幾つもお紹介いただきながら、「これはパワハラに当たるか、当たらないか？」という「Q&A形式」で講演が進められました。例示された中には、職場や学内で実際に起こり得る場面が少なからず登場し、その都度、聴衆はそれぞれに「これくらいはパワハラじゃないでしょう、いや、パワハラかもしれない？」としばし悩まされたあと、大内先生からそれぞれの事例について明快な解説を受け、「なるほどそうか」と納得させられるのでした。

今は、どのような立場であろうとも、ハラスメントと無関係では居られない時代になっております。講演後も会場から様々な質問があり、その質疑応答を含めて、ハラスメントに対する理解をより深めることができました。

研修会には、教員52名（全教員の80%）の他、事務部等職員の合計76名が参加しました。

ハラスメント防止対策委員会



